

令和5年度第5回芽室町総合計画審議会 議事録

令和5年9月20日(水) 18:30~20:00

芽室町役場 2階会議室7・8

■出席委員(12名)

貫田会長、明瀬副会長、岩野委員、江口委員、岡田委員、黒田委員、小池委員、小林(覺)委員、白銀委員、鈴木委員、花岡委員、林委員

■欠席委員(3名)

廣江副会長、小林(義)委員、棚瀬委員

■事務局

村上政策調整係長、佐藤主事

■オブザーバー

十勝総合振興局地域創生部地域政策課 範国課長

■説明員

我妻農林課長、仲野商工労政課長、西田魅力創造課長、矢野障がい福祉係長、佐々木子育て支援課長、大浦子育て支援係長、山田児童係長、石田政策推進課長、佐々木総務課長、坂口高齢者支援課長、江崎生涯学習課長

■1 開会及び挨拶

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和5年度第5回総合計画審議会を開会します。本日は芽室町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る戦略施策評価であり、オブザーバーとして十勝総合振興局地域創生部地域政策課長の範国様に参加いただいております。どうぞよろしく願いいたします。それでは開会にあたり、会長より挨拶をお願いします。

会長

本日は芽室町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく戦略施策評価である。限られた時間ではあるが、活発な議論の場としたい。本日もよろしく願いします。

■2 (1) 調査事項 2023年度戦略施策評価について<資料1>

①産業活性化プロジェクト

事務局

担当課評価、庁内評価について説明。

会長

この戦略施策について、質疑はあるか。

委員

成果指標①（農業生産額）が2021年度から目標値を越えている。要因は捉えているか。

我妻農林課長

2020年度までは手数料や諸経費を差し引いた純額表示であったが、2021年度からは全てを含む総額表示となったことから数値は伸びている。ただ、純額相当額にしても約320億円と目標である314億円を越えている。要因としては、農業は天候や災害に左右されやすいが、農業者の日々の営農努力や、町の施策として土地基盤の整備、営農指導などの地道な取り組みが農業生産性へと繋がっている。

委員

面積あたりの生産量が上がったのか、それとも作付面積が増えたのか。

我妻農林課長

作付面積2万ヘクタールは大きく変わっておらず、単収が上がっている。

委員

農協や農家の努力で農業生産額は向上したということか。

我妻農林課長

大きな要因の1つであると思う。

委員

担い手部会が設置されたことにより今までと変化はあるか。

我妻農林課長

毎年離農者はいるが、幸い離農した跡地は近隣農家が取得しており、耕作面積は減ることなく維持されている。全国的に農業後継者は不足しているが、芽室町は年間10戸程度が後継者就農している。現段階において新たな担い手は考えにくいだが、将来を考えた時にどこまで耕作面積を維持できるか、現状の農業者580戸からどの程度減ってしまうのか。農協や農業委員会と、家族以外の後継者のニーズを受け止めるような体制づくりが必要ということで担い手部会を設置した。今後起こりうる変化を先手先手で対応していく。

委員

個人消費のデータはどのようなものがあるのか。

仲野商工労政課長

十勝や北海道における日銀の単価などを参考にしている。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

②雇用促進プロジェクト

会長

この戦略施策について、質疑はあるか。

(質疑なし)

評価に移る。C評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

③定住促進プロジェクト

会長

この戦略施策について、質疑はあるか。

委員

成果指標①の成果指標設定の考え方（子育て世帯が新築・購入した件数（5年間で250件））について、件数の把握はどのように解釈しているのか。

西田魅力創造課長

奨励金制度を創設しており、その申請件数で把握している。奨励金制度は新築または新築物件購入の場合は30万円、中古物件購入は25万円分の商品券を配付している。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

④関係人口創出プロジェクト

会長

この戦略施策について、質疑はあるか。

委員

ふるさと納税について、寄附件数増加の要因は把握しているか。

西田魅力創造課長

手軽に購入しやすい単価の安い商品を増やしたことによる増加と捉えている。寄付額も2.7億円と、前年度1億円から大きく増えている。

委員

ふるさと納税は芽室町の宣伝になっている。返礼品は生産者の姿や思いが伝わるのが大事だと思う。買い手に思いが伝わる形で進めてほしい。

西田魅力創造課長

貴重な財源ではあるが商売ではなく、寄附であり、ふるさと納税の趣旨をはき違えないようにしている。人間関係をつくっていくことがメインだと考えている。返礼品にはパンフレットや手紙、メールアドレスがわかる方にはメール配信など、芽室町にまた来てもらえるように期待している。また、寄付者、事業者、町民、町の4者がWin-Winになるように考えて進めている。

委員

芽室文芸は今年で50号を迎え、町民や町に所縁がある人の文芸的な作品を載せている。ふるさと納税の返礼品として次年度使っていただくことになった。経済面だけではなく、心や気持ちを受け止めてくれた魅力創造課に感謝している。全然購入されないかもしれないが、芽室町は文化を大切にしているということを発信することに意味があると思う。

会長

評価に移る。B評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：B

⑤安心子育てプロジェクト

会長

この戦略施策について、質疑はあるか。

委員

この戦略施策は担当課が子育て支援課だけであるが、福祉や教育など総合的に進めていることをお示しした方が良いのではないか。

佐々木子育て支援課長

十分なお答えになるかどうかかわからないが、この総合戦略を策定した段階で、この戦略施策を構成する事務事業が決まっており、現計画の中では子育て支援課の所管事業のみで構成されている。政策推進課との協議になるが、次期の計画策定の際には構成する事務事業なども検討していきたい。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑥安心生活プロジェクト

会長

この戦略施策について、質疑はあるか。

委員

成果指標①(高齢者にとって暮らしやすいまちだと思える町民の割合)が目標を達成していない。シート内4や5に記載の取組を行うことで目標達成できるだろうか。

坂口高齢者支援課長

目標が達成できなかったことから、後期実施計画では目標値について実態を踏まえて7.2%に修正した。

委員

全体的に数値が下がってきている要因は把握しているか。

坂口高齢者支援課長

介護保険料の見直しが令和2～3年度にあったことが要因だと分析している。

委員

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の63ページに記載があるが、優先すべきと考える項目として「高齢者への介護サービス」が上位になっている。抜本的に力を入れて考えてほしい。高齢者といっても一括りにはせず、年代によってニーズは異なるため、ある程度年代を区切って対策を練ってほしい。

坂口高齢者支援課長

65歳以上としても年代ごとにニーズが異なる。高齢者の足の問題や障害がある方などへの配慮も必要だと認識している。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑦輝くまちづくりプロジェクト

会長

この戦略施策について、質疑はあるか。

委員

成果指標①(ジモト大学への参加者数)及び②(文化活動がしやすいと感じる町民の割合)について、目標を大幅に超えており数値に乖離がある。

江崎生涯学習課長

成果指標②については後期実施計画にも同じ成果指標を設定しており、目標値を修正した。

会長

評価に移る。C評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：C

⑧観光振興プロジェクト

会長

この戦略施策について、質疑はあるか。

委員

3. 施策の達成状況において、「今後はかつての団体利用は見込めず」と記載があるが、努力はしているのか。

西田魅力創造課長

かつての団体利用とは、宴会利用のことを指している。コロナ以前のような大人数の宴会利用は期待できないが、少人数の団体などは受け入れる体制はとっている。

委員

「日高山脈を含めた観光資源」という意味はどういうことか。

西田魅力創造課長

日高山脈は国立公園となる予定。景観の視点で新嵐山スカイパークと連動させていきたい。

委員

スキー場のシーズン券を購入したが、固定客が多数いる。スキー場に近いかから芽室町に家を建てた。同じ考えの人もいるし、近隣市町村から通っている人もいる。新しいターゲットを広げるだけではなくて、これまでの客層を維持していくところも大事だと思う。ベースとして捉えていただきたい。

委員

子連れの方から前の方が使いやすかったという声を聞いた。新しい取組も良いが、地元の方が使いやすいようにしていただきたい。

委員

今まで使っていた人からの反発を感じている。これからの進め方は今まで使っていた人を大事にしていきたい。

委員

行政は新嵐山を町民の憩いの場という言い方をしているが、町内商店が追い出されて他の事業者が入るのはいかなものか。

委員

足元を見つめた政策を作るべきではないか。高齢者問題、人口減少、町内会、新嵐山にしても町民が喜ぶ姿を目指してほしい。

会長

評価に移る。D評価でよろしいか。

(異議なし)

評価：D

■ 3 その他

会長

以上で本日の調査事項が全て終了した。それではオブザーバーとして参加された十勝総合振興局地域創生部地域政策課長の範国様より感想をいただく。

範国十勝総合振興局地域創生部地域政策課長

審議を拝見したが、戦略施策の評価はC「前進した」が多く、役場も努力されていると感じた。議論の内容も町への想いが詰まっていたと思う。

振興局にいるため町民の方とお会いする機会が少ないが、我々の施策にも生かしていきたい。

ウクライナ、アフターコロナなど世界情勢が変化してきたということで、北海道も総合計画や総合戦略の見直しを進めている。皆さんの意見を聞きながら進めていきたい。

会長

範国様ありがとうございました。

それでは今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

事務局

次回審議会は11月下旬を予定していたが、町内会をテーマとした審議会を追加で10月25日(水)に実施予定。追って通知を送付させていただきます。

会長

今の説明や全体に関して何か質問や意見はあるか。

委員

資料の色付け部分が見づらい。次回から見やすいように修正をお願いしたい。

■ 4 閉会

会長

それでは、これで本日の審議会を終了する。お疲れ様でした。

(20:00)